



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月28日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 4838 URL http://www.spaceshower.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 英明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 案納 俊昭 TEL 03-3585-3242
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,154	12.3	320	79.7	337	82.8	211	81.3
28年3月期第2四半期	6,369	7.3	178	△2.1	184	0.5	116	13.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 211百万円 (81.1%) 28年3月期第2四半期 116百万円 (13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	18.68	—
28年3月期第2四半期	10.50	—

(参考) 持分法投資損益 29年3月期第2四半期 4百万円 28年3月期第2四半期 1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,692	4,040	52.5
28年3月期	7,015	3,942	56.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,040百万円 28年3月期 3,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	0.00	10.00	10.00
29年3月期	—	0.00			
29年3月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,050	8.9	334	181.0	350	156.0	228	297.1	20.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料4頁をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	11,330,800株	28年3月期	11,330,800株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	－株	28年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	11,330,800株	28年3月期2Q	11,117,466株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高進行におされながらも、企業収益や雇用環境においてゆるやかな改善傾向が見られたものの、個人消費や設備投資については踊り場の状態が続きました。また、世界経済は、中国での景気減速感がより鮮明となったこと、欧州における英国のEU離脱問題などが世界経済に及ぼす影響が懸念され、下振れリスクが残っていることなど、依然として不安定な状況が続いております。

こうした環境の下、当社グループでは、放送業界、音楽業界、エンタテインメント業界における市場環境や消費者ニーズの変化に対応するため、創業以来行ってきた音楽映像コンテンツの企画制作及び有料多チャンネル放送プラットフォームにおける音楽専門チャンネルの運営をベースとしつつ、ライブイベント展開、デジタルコンテンツ制作や各種デジタルサービス展開、音楽レーベルからアーティストマネジメントに至る展開まで、当社グループが有するあらゆる機能を複合的に活用しながら、多様なメディア・コンテンツ事業を展開し、音楽総合エンタテインメント企業への転換を図ることを基本方針として参りました。前連結会計年度において連結子会社化した、ファンサイト事業を展開するコネクトプラス株式会社及びコンセプトカフェ運営を行うインフィニア株式会社の2社、これまでの株式会社セップ、株式会社Pヴァインとともに、新たな分野での成長施策の推進、事業領域の拡大に向けた企業グループ経営を推進しております。

当第2四半期連結累計期間においては、コネクトプラス株式会社、インフィニア株式会社の2社が連結子会社に加わったことや、「ガスの極み乙女。」をはじめとした自社関連アーティストの権利収入やライブツアー収入など、前連結会計年度における取り組みの成果が大きく貢献したことに加え、定額制聞き放題のサブスクリプションサービス市場の拡大や取り扱い楽曲のヒットによりデジタル音楽配信収入が増加し、売上高は大幅に拡大いたしました。

また、当社所属の新人アーティスト「Suchmos」が順調に成長し、企業CMのタイアップ曲を獲得するなど、各メディアにおいて注目を集めるようになり、当社のアーティストビジネスの持続的成長にむけた布石を打てたほか、株式会社AbemaTVの運営するインターネットテレビ局「AbemaTV」における、当社独自編成の無料放送音楽チャンネル『SPACESHOWER MUSIC CAST』の開設や、LINE株式会社の動画生配信プラットフォーム「LINE LIVE」におけるオリジナル番組配信の実施等、インターネットにおける音楽コンテンツのウィンドウの拡大に努めました。加えて、2016年9月1日に、渋谷のライブハウス1号店「WWW」を展開するライズビル2階に、2号店「WWW X」をオープンいたしました。引き続き、コンテンツ及びメディアの両面から今後に向けた新たな取り組みを推進してまいります。

恒例の当社主催野外ライブイベント「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」につきましては、昨年に続き8月26日～28日の3日間の開催。合計で約5万人を動員し、成功を収めました。

これらの取り組みの結果、売上高は7,154,658千円と前年同期比785,034千円増（同12.3%増）となりました。また、営業利益は320,660千円と前年同期比142,246千円増（同79.7%増）、経常利益は337,551千円と前年同期比152,864千円増（同82.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は211,607千円と前年同期比94,872千円増（同81.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①メディア・コンテンツ セグメント

当セグメントにつきましては、音楽チャンネルの運営を中心に関連イベントやコンテンツプロデュースを展開するSPACE SHOWER TV事業、アーティストマネジメントからレーベル及びディストリビューションまでアーティストビジネスを360度展開するSPACE SHOWER MUSIC事業、音楽周辺のポップカルチャー領域を開拓するSPACE SHOWER ENTERTAINMENT事業並びにデジタルサービス分野の推進・開拓をめざすSPACE SHOWER DIGITAL事業の主に4つの事業ユニットを中心に、各事業分野の成長施策の推進にあっております。

SPACE SHOWER TV事業においては、有料放送収入におけるスカパー！サービスの加入世帯数は減少傾向にあるものの、「スペースシャワーTV」配分単価が前年同期比で上昇したことにより、売上を拡大しました。

SPACE SHOWER MUSIC事業においては、「ゲスの極み乙女。」をはじめとした自社関連アーティストの原盤印税や、放送二次使用料等の著作隣接権収入が前年同期を上回り、アーティストマネジメント関連並びにライセンスが好調に推移しました。人気を拡大させつつある「Suchmos」につきましては、2016年7月発売の新譜が好調な売上を記録したことに加え、旧譜（前年度発売済作品）の売上が伸長しました。また、サブスクリプションサービスの拡大に牽引され、デジタル音楽配信収入が前年同期比で増加しました。

SPACE SHOWER ENTERTAINMENT事業においては、前連結会計年度に連結子会社化したインフィニア株式会社の運営するコンセプトカフェ「@ほお〜むカフェ」の集客も堅調に推移し、売上高、経常利益ともに、前年同期を大きく上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は 6,585,972千円と前年同期比 991,972千円増（同 17.7%増）となり、経常利益（セグメント利益）は、335,735千円と前年同期比 176,978千円増（同 111.5%増）となりました。

②映像制作 セグメント

当セグメントにつきましては、大型LIVE映像制作やプロモーションビデオ制作の受注が前年同期比で減少したことにより、売上高は 568,685千円と前年同期比 206,937千円減（同 26.7%減）となり、経常利益（セグメント利益）は、14,462千円と前年同期比 23,469千円減（同 61.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に受取手形及び売掛金が 515,070千円、建物及び構築物が 372,774千円、仕掛品が 195,997千円、リース資産が 72,895千円、その他（流動資産）が 50,616千円増加し、一方で現金及び預金が 461,704千円減少し、減価償却累計額及び減損損失累計額が 53,083千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ 677,603千円増加し、7,692,848千円となりました。

負債につきましては、主に買掛金が 330,294千円、未払法人税等が 103,233千円、リース債務（固定負債）が 57,225千円、その他（流動負債）が 55,273千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ 579,484千円増加し、3,652,145千円となりました。また、純資産は主に利益剰余金が 98,299千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ 98,119千円増加し、4,040,703千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、464,704千円の使用となり、資金の四半期末残高は、1,876,869千円となりました。これは、営業活動により 49,908千円獲得した一方で、投資活動により 390,636千円、財務活動により 123,970千円使用したことによるものであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の獲得は、49,908千円（前年同期は 279,835千円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益により 337,548千円、仕入債務の増加により 330,294千円、減価償却費の計上により 54,857千円、無形固定資産償却費の計上により 51,834千円獲得した一方で、売上債権の増加により 515,070千円、たな卸資産の増加により 187,175千円、法人税等の支払により 62,350千円使用したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の使用は、390,636千円（前年同期は 188,181千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得により 362,417千円使用したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の使用は、123,970千円（前年同期は 118,254千円の獲得）となりました。これは、主に、配当金の支払により 113,308千円使用したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通り推移しており、平成28年4月28日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は、軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,398,202	1,936,498
受取手形及び売掛金	1,741,150	2,256,220
商品及び製品	282,649	271,840
仕掛品	102,386	298,384
原材料及び貯蔵品	5,194	7,181
繰延税金資産	130,597	152,805
その他	220,178	270,794
貸倒引当金	△54,246	△54,036
流動資産合計	4,826,113	5,139,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	719,832	1,092,606
機械装置及び運搬具	18,323	20,075
工具、器具及び備品	424,519	456,509
土地	72,455	72,455
リース資産	449,755	522,650
建設仮勘定	13,814	—
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,121,282	△1,174,365
有形固定資産合計	577,417	989,930
無形固定資産		
のれん	246,700	221,690
商標権	186,559	181,340
ソフトウェア	166,900	161,575
その他	22,817	22,216
無形固定資産合計	622,978	586,823
投資その他の資産		
投資有価証券	317,200	321,511
敷金及び保証金	372,164	369,604
繰延税金資産	219,816	228,045
その他	97,821	79,502
貸倒引当金	△36,706	△36,701
投資その他の資産合計	970,297	961,962
固定資産合計	2,170,693	2,538,716
繰延資産		
株式交付費	14,902	11,463
その他	3,536	2,979
繰延資産合計	18,438	14,442
資産合計	7,015,244	7,692,848

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,144,443	1,474,738
リース債務	19,849	30,688
未払金	260,608	243,684
未払法人税等	65,182	168,415
預り金	535,845	541,447
賞与引当金	110,498	105,980
役員賞与引当金	12,461	21,917
返品調整引当金	71,430	66,467
売上割戻引当金	870	626
その他	51,688	106,961
流動負債合計	2,272,878	2,760,928
固定負債		
リース債務	97,592	154,817
退職給付に係る負債	582,163	609,678
役員退職慰労引当金	113,486	122,465
その他	6,539	4,255
固定負債合計	799,782	891,216
負債合計	3,072,660	3,652,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920,579	1,920,579
資本剰余金	977,579	977,579
利益剰余金	1,044,245	1,142,545
株主資本合計	3,942,403	4,040,703
非支配株主持分	180	—
純資産合計	3,942,583	4,040,703
負債純資産合計	7,015,244	7,692,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,369,624	7,154,658
売上原価	4,956,054	5,306,549
売上総利益	1,413,569	1,848,109
返品調整引当金戻入額	8,685	5,133
差引売上総利益	1,422,255	1,853,242
販売費及び一般管理費	1,243,841	1,532,582
営業利益	178,413	320,660
営業外収益		
受取利息	222	14
受取配当金	602	395
持分法による投資利益	1,722	4,311
受取賃貸料	870	870
業務受託手数料	3,978	10,528
諸預り金戻入益	1,486	2,734
助成金収入	—	3,000
雑収入	782	1,429
営業外収益合計	9,665	23,282
営業外費用		
支払利息	1,067	698
株式交付費償却	2,292	3,438
為替差損	—	1,616
雑損失	31	638
営業外費用合計	3,391	6,391
経常利益	184,686	337,551
特別損失		
固定資産除却損	11	2
特別損失合計	11	2
税金等調整前四半期純利益	184,675	337,548
法人税、住民税及び事業税	75,343	156,557
法人税等調整額	△7,403	△30,437
法人税等合計	67,940	126,120
四半期純利益	116,735	211,427
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△180
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,735	211,607

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	116,735	211,427
四半期包括利益	116,735	211,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,735	211,607
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△180

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	184,675	337,548
減価償却費	56,528	54,857
無形固定資産償却費	41,401	51,834
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,079	△214
のれん償却額	—	25,010
受取利息及び受取配当金	△824	△409
敷金及び保証金償却	3,004	2,770
株式交付費償却	2,292	3,438
持分法による投資損益(△は益)	△1,722	△4,311
支払利息	1,067	698
有形固定資産除売却損益(△は益)	11	2
出資金償却	6,316	6,981
差入保証金の増減額(△は増加)	193	△177
長期前払費用償却額	300	892
売上債権の増減額(△は増加)	△638,309	△515,070
たな卸資産の増減額(△は増加)	△69,191	△187,175
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△67,562	△42,254
仕入債務の増減額(△は減少)	393,040	330,294
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△103,645	8,676
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△200	△2,284
賞与引当金の増減額(△は減少)	△40,491	△4,518
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,390	9,455
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24,494	27,515
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△135	8,979
その他	0	6
小計	△222,068	112,548
利息及び配当金の受取額	824	409
利息の支払額	△1,067	△698
法人税等の支払額	△57,525	△62,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	△279,835	49,908
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
有形固定資産の取得による支出	△121,783	△362,417
無形固定資産の取得による支出	△53,166	△39,716
出資金の払込による支出	△5,184	—
出資金の回収による収入	5,559	13,226
貸付金の回収による収入	1,147	1,041
敷金及び保証金の差入による支出	△487	—
敷金及び保証金の回収による収入	482	229
会員権の取得による支出	△11,750	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188,181	△390,636
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	242,406	—
配当金の支払額	△106,908	△113,308
リース債務の返済による支出	△17,244	△10,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	118,254	△123,970
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△349,763	△464,704
現金及び現金同等物の期首残高	2,891,086	2,341,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,541,322	1,876,869

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,594,000	775,623	6,369,624	—	6,369,624
セグメント間の内部売上高 又は振替高	130	22,462	22,592	△22,592	—
計	5,594,130	798,086	6,392,216	△22,592	6,369,624
セグメント利益	158,757	37,931	196,688	△12,001	184,686

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△12,001千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,585,972	568,685	7,154,658	—	7,154,658
セグメント間の内部売上高 又は振替高	220	19,273	19,493	△19,493	—
計	6,586,192	587,959	7,174,152	△19,493	7,154,658
セグメント利益	335,735	14,462	350,197	△12,646	337,551

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△12,646千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。